



～あんず通信では感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

8月：葉月（はづき）

8月7日は立秋です。今年の7月は8月のような猛暑でしたが、暦の上ではもう秋となります。ほんの少しずつ、秋の気配がしてくる頃、台風がやってくる季節です。

【感染症だより】

～手足口病・ヘルパンギーナについて～

夏かぜの代表が手足口病、ヘルパンギーナです。昨年の夏は手足口病が大流行したので、大多数の子供達は免疫がつかしました。中には3回も手足口病にかかった子どももいました。そのためか、今年ヘルパンギーナは増えてきましたが、手足口病が下火です。咽に口内炎のような水疱が出来ます（写真：のどちゃんこの横にある白いブツブツ）。高熱が出る場合がありますが、夏風邪なので基本的に自然に治ります。口の中が痛すぎて、ものを飲み込めない症状が出る子もいます。水分摂取が減って脱水症を起こすことがありますので、気を付けましょう。解熱して、いつものように食事が摂れるようになれば登園できます。

表：7月しみず小児科・内科クリニックで診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	溶連菌	120
2	胃腸炎(アデノ5含む)	90
3	手足口病(4)・ヘルパンギーナ(7)	11
4	リンゴ病(伝染性紅斑)	9
4	咽頭アデノウイルス(プール熱)	9
6	突発性発疹	8
6	とびひ(伝染性膿痂疹)	8
8	RSウイルス	7
9	水ぼうそう(水痘)	2
9	新型コロナウイルス	2
9	おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)	2
9	ヘルペス性歯肉口内炎	2

検査は実施していませんが、百日咳とみられる患者さんも数名受診されております。



▼みやけ内科・循環器科より引用



～食中毒について～

夏と言えば食中毒が多い季節です。保健所からも注意喚起されているように、食品衛生に気を付けましょう（↑QRコード参照）。夏の食中毒で多いのが、カンピロバクター、サルモネラ、腸管出血性大腸菌(O157)などの細菌性腸炎です。通常保育園などで流行する「お腹の風邪」とは異なり、下痢に高熱を伴うことが多いです。特にサルモネラでは、「渋り腹(しぶりばら)」と言って、お腹がしくしく痛んでは少しずつ下痢が頻回に出ることがあります。自然に改善する事が多いですが、発熱、下痢、血便がみられた時は、疑って受診をしましょう。粘血便が見られた場合には、溶血性尿毒症症候群という重症の合併症になることがありますので、どんな下痢便が出ているのかしっかりと観察しましょう。この季節、お肉はしっかり加熱して調理する、調理器具を使い分ける、調理器具の洗浄や消毒など衛生管理に努めましょう。

☀ **夏休みのお知らせ** ☀

下記の期間は閉室となります

病児保育室あんず夏休み：8月16～24日

ご不便をおかけしますがよろしくお願い致します

しみず小児科・内科クリニック：8月17～24日夏季休診

★8月25日から通常どおり診療致します

～病児保育室あんず求人のお知らせ～

常勤&パートの保育士さんを探しています。詳細はホームページまたは求人サイトをご覧ください。

～あんずからのお願い～

★空き状況はWebで

ホームページから確認出来ます。ご予約は前日または当日**必ずお電話で(042-513-4158)** お願い致します。

📍 空き状況はこちらから



★キャンセルをされる場合

留守番電話でも構いませんので**当日 8:30までに必ずご連絡**をお願い致します。利用ご希望の方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

★ご予約の際の注意事項

診察を受けた**病名**によって、お部屋割りを行っています。なるべく同じ病気(感染症)のお子様と同じお部屋にすることで、子ども同士の伝染を防ぎます。また、感染症の接触歴、流行状況等をお聞きしております。ご協力をお願い致します。

★保険資格確認について

入室後必要に応じて医師が診察をします。健康保険証又は資格確認書をお持ちください。どちらもお持ちでない場合、マイナ保険証の方はスマホでマイナポータルのページを確認させていただきます。

